他の委員会・会議

行政部門別常任委員会の他、議会内に設置された主な委員会や会議について、ご紹介します。

（令和5年7月10日現在）

予算決算常任委員会

予算、決算など県財政全般について審査・調査します。議長を除く議員全員が委員となっています。

委員長	村林　聡	
副委員長	藤根 正典	
理　事	田中 祐治	倉本 崇弘
	田中 智也	藤田 宜三
	石田 成生	稲垣 昭義
	津田 健児	

議会運営委員会

議会の運営に関する事項を中心に、議会関係の条例・会議規則などに関する事項、議長が諮問した事項などについて、審査・調査します。

委員長	石田 成生	
副委員長	田中 智也	
委　員	田中 祐治	倉本 崇弘
	藤根 正典	藤田 宜三
	稲垣 昭義	津田 健児

代表者会議

会派間の意見の調整や議会の行事に関することなどを協議します。

議　長	中森 博文	
副議長	杉本 熊野	
（新政みえ）	藤根 正典	藤田 宜三
	稲垣 昭義	三谷 哲央
（自由民主党）	田中 祐治	津田 健児
	中嶋 年規	
（草莽（そうもう））	倉本 崇弘	
議会運営委員長	石田 成生	

広聴広報会議

県議会における効果的な広聴広報の取り組みについて協議・調整します。

座　長	杉本 熊野	
委　員	荊原 広樹	世古　明
	龍神 啓介	辻内 裕也
	松浦 慶子	吉田 紋華
	中瀬 信之	廣 耕太郎
	東　豊	

食料自給総合対策調査特別委員会

食料自給率の向上に向けた総合的な対策について調査します。

委員長	中瀬 信之		
副委員長	中嶋 年規		
委　員	伊藤 雅慶	辻内 裕也	松浦 慶子
	吉田 紋華	芳野 正英	喜田 健児
	山内 道明	藤田 宜三	谷川 孝栄
	西場 信行		

ロシアのウクライナ侵攻を始めとする国際情勢の変化、輸入元の諸外国における農産物の不作、地球温暖化に伴う異常気象の頻発等、国内の食料需給を巡るリスクが表面化してきました。

こうした食料事情を契機に、県内の食料自給力を強化するとともに、地産地消を促進することは、農林水産業の活性化にとどまらず、三重県の観光を支える「豊かな食」としての期待や食に関する教育の振興など幅広い分野に波及効果が期待できます。

食をとりまくさまざまな角度から、現状と課題を把握し、食料自給率の向上に向けて、しっかりと調査・議論を進めていきます。

重点項目

○食料の安定供給と食料自給力の向上

飼料、肥料の価格高騰時の補填策や食料自給力（農地等の農業資源、水産業資源、労働力等）の底上げ等の取り組みについて調査します。

○地産地消の取り組み

地元農産物の学校給食への普及拡大、販路の拡大等の取り組みについて調査します

○農林水産業の後継者・担い手の確保

地域を支える小規模・家族農業に対する支援、外国人労働者の受入れ等の取り組みについて調査します。

○地場産品の充実

観光政策における「食」や県内産品のブランド化、食関連産業の振興等の取り組みについて調査します。

○「食」に関する教育の推進

学校給食を通じた子どもへの教育、フードロス削減等の取り組みについて調査します。

子どもに関する政策討論会議

子どもに関する喫緊の政策課題について、子どもに寄り添った政策立案および政策提言に関して調査および検討します。

座　長（議　長）	中森 博文		
副座長（副議長）	杉本 熊野		
委　員	世古　明	龍神 啓介	石垣 智矢
	稲森 稔尚	藤根 正典	小島 智子
	石田 成生	東　豊	今井 智広
	稲垣 昭義		

子どもを取り巻く環境は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、小中学校の不登校や子どもの自殺が過去最多となるなど、非常に厳しい状況となっています。

これらの状況に加えて、子どもの貧困や、ヤングケアラーの問題、児童虐待への対応など、特別に支援が必要な子どもたちに対して、どのように取り組んでいくべきか、総合的な検討が必要であると考え、令和5年6月30日に議決により議長、副議長を含む議員12人で構成する「子どもに関する政策討論会議」を設置しました。

今後、方向性を定めた上で、子どもに関する政策立案および政策提言ができるよう、調査および検討を進めていきます。

再生可能エネルギーに関する検討会

再生可能エネルギーの導入に関して、調査および検討します。

座　長	津田 健児		
副座長	平畑　武		
委　員	吉田 紋華	廣 耕太郎	野口　正
	小林 正人	長田 隆尚	舟橋 裕幸
	三谷 哲央	服部 富男	

三重県では、令和5年3月に「三重県地球温暖化対策総合計画」および「三重県新エネルギービジョン」を改定し、脱炭素社会の実現を目指して2050年までに県域からの温室効果ガスの排出を実質ゼロとするよう取り組んでいます。そのために、本県では、再生可能エネルギーの導入をさらに促進することとしています。

一方、再生可能エネルギーについては、設置から解体までの過程において環境整備が不十分なために、自然環境の破壊につながることなどが懸念されています。

そこで、本県議会では、再生可能エネルギーの現状と課題について実態を把握し、県民の目線に立った課題解決を図るため、令和5年6月30日に議決により議員10人で構成する「再生可能エネルギーに関する検討会」を設置しました。

今後、本検討会の方向性について議論を行った上で、再生可能エネルギーの導入に当たっての課題解決に向け、具体的な調査および検討を進めていきます。

議会活動計画（第3期）の策定

三重県議会では議員任期4年間で実施すべき主な取り組みを示すとともに、その評価の仕組みをまとめた「三重県議会 議会活動計画」を策定しました。この計画に基づき、毎年度取り組みの評価を行い、改善へとつなげていきます。今回策定した第3期の活動計画では、「若年層を意識しつつ分かりやすい議会広報を行うこと」と「オンラインを活用した議会活動」に力を入れて取り組むこととしています。

議会基本条例に掲げる次の基本方針に基づき取り組みます

1 議会活動を県民に対して説明する責務があることを考慮して、積極的に情報を公開するとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

2 議会の本来の機能である政策決定と、知事等の事務の執行について監視と評価を行います。

3 提出された議案の審議または審査を行うほか、独自の政策立案や政策提言に取り組みます。

4 地方分権の進展に的確に対応するため、議会改革をすすめ、他の自治体の議会との交流や連携を行います。

議会改革推進会議

全議員が参加し地方分権の時代にふさわしい県議会の在り方を調査し、改革を目指す他の県議会との相互交流を図ります。

会　長	三谷 哲央	
副会長	森野 真治	中嶋 年規
幹事長	村林　聡	
幹　事	廣 耕太郎	石垣 智矢
	野村 保夫	稲森 稔尚
	藤根 正典	今井 智広
監　事	龍神 啓介	平畑　武